

八峰コミスク通信

令和6年度
第18号
R7/2/17
CSディレクター
三浦

まだまだ厳しい寒さが続いています。確実に春は近づいているようです。学年末の忙しい時期ですが、学校では、子どもたちの様々な活動が行われています。

一年生 里帰り交流（二月二十八日）

峰浜ポンポコ子ども園を訪問し、ひまわり組の園児十四名の皆さんと里帰り交流を行いました。昨年十二月には、ひまわり組の皆さんが小学校を訪問し、交流を行いました。今回は、一年生が子ども園を訪問して交流を楽しみました。



最初に、一年生が、「よさこい」をひまわり組さんの前で発表した後、一年生をお手本にして、園児の皆さんも一緒に踊りました。その後、一年生の縄跳びの発表と、オセロゲームを楽しみました。



一時間ほどの交流会でしたが、一年生と園児は、すっかり打ち解けた雰囲気でした。

三年生 駒踊り・奴踊りの講話（二月二十九日）



石川伝統芸能保存会の小沢さんを講師に招き、石川地区の伝統芸能である、駒踊りと奴踊りの学習会を開きました。駒踊りと奴踊りの起源、歴史や今の様子について、

お話を聞いたり、映像や写真、実際に身に付けた衣装や道具を見せたりしながら、学習しました。三年生の中には、駒踊り、奴踊りに参加している児童もあり、「身に着ける衣装の重さは、どのくらいあるのか」「踊りは、何種類あるのか」「踊りには、熱心に練習している」と、真剣な表情で話を聞いていました。



講話の後には、「自分も踊ってみたい」「踊りの感想を張りたい」など、話したいことがたくさん出てきました。

二年 地域と八峰中が取り組む地域貢献（二月三十日）

二年生が、地域の方々と「地域貢献」について意見交換しました。コミスク委員、地域おこし協力隊、こまぶき大学、スポーツ推進委員の方々と、十八名が話し合いに参加してくださいました。



二年生の考えた地域貢献活動の案に、地域の皆さんが、点で意見やアイデアを述べ、和気あいあいと懇談が行われました。最後には、グループごとに、実行したい地域貢献活動を考えました。どのグループも、地域の皆さんとの触れ合いや、世代を超えた交流を取り入れた地域貢献案を発表しました。今回の案が、八峰中学校の新年度の生徒会活動の参考になればと思います。

入学説明会（二月三十一日）

地域の大人と中学生が、一緒に話し合うのは、コミュニティ・スクールとして、初めての機会になりました。これをきっかけに、学校と地域がますます近くなってくれば、と思います。

四月に入學予定の小学六年生二十五人と保護者の皆さんが参加しました。六年生は、最初に教室で、数学の授業を体験しました。中学の小林先生による授業で、視力検査で用いるランドルト環の大きさを求める課題でした。また、保護者の皆さんに対しては、警察署少年係の方が来校し、SNS、インターネットのトラブル防止の研修会が開かれました。



後半は、中学校生徒会執行部の皆さんが、八峰中学校での学習や生活、生徒会活動、行事の説明会を行いました。入学式までの準備については、説明もあり、六年生と保護者の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。



訪問演奏会（二月十日・十四日）

吹奏楽部員が、峰浜小学校と八森小学校の放課後児童クラブを訪れました。

小学生は、中学生の演奏を楽しみ、曲が終わるたびに大きな拍手を送っていました。アンコールでは、演奏に合わせて大きな声で歌ったり、手拍子をしたり、大いに盛り上がりました。短時間でしたが、心温まる演奏会でした。

